

第76回 扇山から大野貯水池

第11支部 若林商店
若林裕司

さる4月10日の日曜日に扇山から大野貯水池行ってまいりました。メンバーは、磯部、大井、石井、乾、山本、大河原、原夫人、私の計8名です。当日はお天気にも恵まれ春うららかな日に行くことができました。どうも最近の山行は、雨に見舞われる事が多いようで、「お花見」もコースに組み込んでますので、お天気が気になります。集合駅の鳥沢駅に定時に到着した電車には、リュックを担いだ人しか降りてこない様なありさまで、この頃の山人気を象徴しています。さて改札を出ると皆様すでにバス停に並んでいまして、ここで「おはようございます」です。これまたハイキング客しか乗っていない満員のバスに揺られて15分程で扇山登山口に到着です。ここで身支度を整えて記念写真を撮ってさあ出発です。

過去の第59回に行った事があるコースで、その時は、私は不参加でしたので初登頂です、この辺りの山は結構きつい登りが続くところが多く息が上がってゼイゼイして登って行くと何と、自転車を担ぎあげてきたグループと遭遇いたしました。皆さん高そうなマウンテンバイクを持ってきて、担ぎあげて頂上からイッキに下つて行くそうで、そんな恐ろしい事、私なら絶対思いつきもしないでしょう。

歩き始めて1時半ほどでコースタイムより早く登頂しました。雲の間にまだ雪がある真っ白な富士山を眺める事が出来て、何か不思議とうれしい気分になりました。何時もならここで、宴会が始まるのですが、今日は下山先の大野貯水池で花見を予定しているため小宴会です。いつも、いつも重い缶ビール担ぎあげて下さる石井さん感謝して頂く冷たいビールの心地よいのど越し、汗をかいて苦労して登ってきた疲労感もすっ飛ぶ爽快さです。もう少しゆっくりしていたのですが、この先の花見のところまで、85分かかるため撤収です。

まだ飲み足りないので、ここで止めておいてよかったです。頂上からの下りはダラダラとなだらかに下って行きますこの時、さっきのマウンテンバイクグループが颯爽と下って来ました、お先にどうぞと云うと、自転車から降りて押しながら横を通過して行きました、聞いてみると、ハイカーを追い越す時は、下車するルールがあるそうです。通り過ぎると、サットまたがって、すぐに見えなくなりました。先週から左ひざの具合が悪く行こうか、どうしようか迷っていたのですが、その心配が持ち上がってきました。ズキズキ膝が悲鳴をあげはじめました、さらに、腿、脹脛も、つりそうな状況に陥り、下るスピードが、どんどんダウンしてきました。伴走していた大井さんと大河原さんを先に行かせて、私は、息を整え、脹脛を伸ばすことを少ししてユックリ歩き始めたのです。ちょっと下りた所で皆さんお待ちかねで、磯部さんからツムラ68番を渡され、これ飲めば大丈夫だから、と勧め

られました。今朝方、同じのを飲んで来たのですけれど、もう効果が薄れて来たのかかもしれません。さてここから列の2番目の位置取りで再び出発です、後ろの方はユックリ過ぎて歩きずらい事でしたでしょうね、でもこれ以上迷惑を架けることなく、なんとか山道を降りきました。

車道へ出たところが、旧甲州街道、犬目宿で、この付近には、大きな農家が並んでいました、庭先の桃の木立や、桜、こぶし、など春の草木が満開です 今日の山は、花が少なく山桜が一分咲いていた程度で寂しい感じでした。ここで一気に春を感じてきました。相変わらずユックリ歩いている私に付き添ってくれている大井さんと大河原さんと3人は、本体とかなりはなされていて、目的地の貯水池に到着したけれど何処に行ったものか、分からなくなっていました。先のほうで、大きな音の民謡が聞こえる方へ行ってみると、いたいた、芝生にシートを広げて遅いという、顔して待っていました。

公園にステージを作つて地元の桜まつりが行われていました。運よく満開の桜の下で、我々も花見宴会の始まりです。持参した日本酒やつまみを広げて酒盛り開始です、ここで、四方津駅まで、バスに乗るか、歩いて行くか問われまして、勿論バスに乗りたいと、申し上げると、あと40分しか時間がありませんという返事が返ってまいりました。まあそれは、ペースダウンした私のせいでありまして、「かどや」も控えていますから、ここは時間まで桜を見て一杯やって楽しく過ごすことにします。帰りのバスは貸し切りで、10分ほどで四方津駅に到着です。

さらに約20分で「かどや」到着です。ここで本日の打上げ開始です。いつもなら宴席だけ参加するかたがいるのですが、今日は誰も来ません。ここは、すごく安くてうまい店で途中下車してでも寄る価値が十分あります。もう中央線利用の時は必ずここで打上げをしないとハイキングへ行った気がしないそんな店です。今日も山帰りの人でほぼ満席状態でした。それでは本日3度目の乾杯をして、大変お疲れ様でした。